

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成21年度事業分)

1. 施設の概要

施設名	山梨県立梨の実寮	所管課	障害福祉課
所在地	南アルプス市有野4370	設置年月日 (改築年月日等)	昭和53年8月1日
管理方式	指定管理者((福)山梨県手をつなぐ親の会、平成18年4月1日～平成28年3月31日)		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立障害者支援施設設置及び管理条例		
設置目的	18歳以上の知的障害者に必要な指導及び訓練を行い、自立した日常生活や社会参加を図ること。		
主な施設内容 (定員等)	管理・居住棟(4人部屋×10、5人部屋×2、2人部屋×1、1人部屋×4)、作業棟(252㎡)、ほだ場(641.52㎡)、発生舎(680.4㎡)、植菌棟(54㎡) <サービス定員数> ・生活介護(50名)・就労移行支援(10名)・就労継続B型(10名)・施設入所支援(50名)・短期入所(6名)		
主な業務内容	(1)施設及び設備器具の維持保全に関する業務 (2)利用者に対するサービス業務 ・生活介護・就労移行支援・就労継続支援B型・施設入所支援・短期入所 (3)その他知事が必要と認める業務		

2. 類似施設・近隣施設

名称・施設内容・ 利用状況等	○山梨県立あけぼの医療福祉センター (重症心身障害児入所(60)・通所(15)、肢体不自由児入所(20)・通園(10)) ○山梨県立育精福祉センター (障害者支援施設:生活介護(105)、施設入所支援(90)) (知的障害児施設(70))
-------------------	---

3. 利用状況

単位: 人、%

		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度 (目標値)
利用者数	利用者数(入所)	52	52		
	利用者数(通所)	15	14		
	生活介護			46	50
	就労移行支援			6	10
	就労継続支援B型			10	10
	施設入所支援			48	50
	短期入所			6	6
	利用者数合計	67	65	116	
	目標値				
	目標値設定の考え方	良質なサービスの提供を図る指標として、施設が利用者一人ひとりに作成している個別支援計画の達成度合いがあるが、障害者の障害程度が異なり、個別支援計画の目標達成度合いを一律に1年間で評価することは難しいことから、年度ごとの具体的な目標管理は出来ない。			
対19年度比	100.0%	97.3%	173.5%	0.0%	
稼働率	103.0%	101.5%	90.0%	100.0%	

## 4. 収支状況

単位：円、%

		平成20年度	平成21年度 (計画値)	平成21年度 (実績値)	平成22年度 (計画値)
収入	施設利用料	195,557,078	182,349,000	182,857,253	193,627,000
	指定管理者委託料	0	0	0	0
	その他	33,538,944	37,520,000	45,946,700	21,952,000
	収入合計(A)	229,096,022	219,869,000	228,803,953	215,579,000
支出	人件費	143,065,423	133,937,000	127,174,046	154,410,000
	県への納付金	0	0	0	0
	管理運営費	81,793,553	85,932,000	84,666,007	60,889,000
	(うち外部委託費)(B)	152,250	400,000	392,250	400,000
	支出合計(C)	224,858,976	219,869,000	211,840,053	215,299,000
収支差額(A-C)		4,237,046	0	16,963,900	280,000
外部委託比率(B÷C)		0.1%	0.2%	0.2%	0.2%
利用者一人当りの経費		0	-	0	-

## 5. 利用者満足度

実施方法等	実施時期：平成22年1月～22年3月、 実施方法：利用者へのアンケート、 回答数：47人(施設入所支援サービス利用者)
-------	---

単位：%

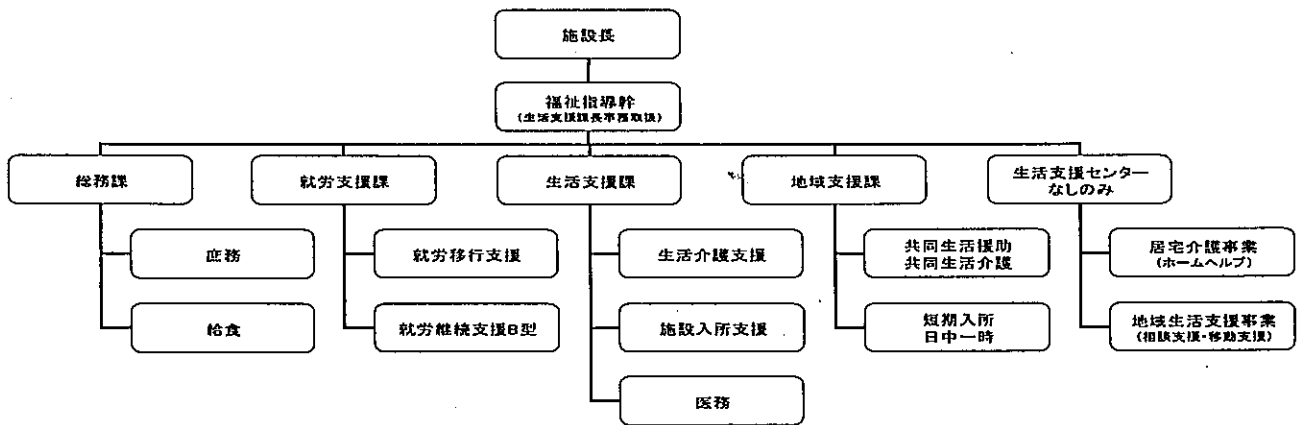
調査項目	満足・十分	普通・ どちらでもない	不満足・ 不十分	不明・ わからない
利用者のケア	54.0%	15.0%	29.0%	2.0%
秘密保持について	56.0%	5.0%	37.0%	2.0%
食事面	90.0%	10.0%	0.0%	0.0%
入浴支援	73.0%	10.0%	10.0%	7.0%
健康管理面	85.0%	2.0%	10.0%	3.0%
買い物、外出、外泊について	71.0%	10.0%	12.0%	7.0%
設備・管理面	68.0%	22.0%	10.0%	0.0%
各項目の平均	71.0%	10.6%	15.4%	3.0%

利用者の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新設の風呂場は、冬は寒く通路に屋根がないので雨の日はぬれてしまう。</li> <li>・利用者が行事担当を決めて職員と計画・立案しているので、自主的に取り組み参加できてよかった。</li> <li>・選択メニュー及び行事食、希望献立などが取り入れられていておいしい。</li> </ul>
利用者の意見への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・風呂場の屋根については可動式の雨よけ等を検討する。</li> <li>・自主的な取り組みをする利用者が増えている。</li> <li>・利用者の声を聞き、希望等は出来るだけメニュー等に反映できるようにしている。</li> </ul>

6. 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	施設は老朽化しているが、法令、業務仕様書等に基づき、適正に業務を執行した。	業務仕様書、業務計画書どおり適正に実施されている。
運営業務	事業計画書に基づき、適正に業務を執行した。	事業報告書及び現地確認の結果概ね適性の実施されているが、個別支援計画の評価及び計画の見直しについては早急に改善を行うこと。 今後も引き続き利用者個々の特性に鑑みた個別支援計画を策定し、質の高いサービスの提供のために努力された。
自主事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日中一時支援事業</li> <li>・指定相談支援</li> <li>・居宅介護、重度訪問介護</li> <li>・移動外出支援</li> <li>・共同生活介護、共同生活援助</li> </ul>	自主事業申請(業務計画書)どおり適正に実施されている。
利用状況	各サービス事業の年間利用実績は以下のとおりであり、概ね計画どおり執行が出来た。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設入所支援 95%</li> <li>・生活介護 98%</li> <li>・就労移行支援 99%</li> <li>・就労継続B型 98%</li> <li>・短期入所 125%</li> </ul>	関係機関との連携を密に行い、施設利用の促進のためのPRに努めている。今後も引き続き利用者のニーズに沿ったサービスの提供のために努力された。
収支状況	収入は若干減額したが、経費削減を徹底したことで、収支差額は増額となった。	コスト削減により、効率的な運営・管理が行われた。 引き続き同様の経営が実現できるよう努力をすること。
利用者満足度	ほとんどの項目で利用者より「満足している」との回答が出ている。今後においても利用者の視点に立ったサービスの提供に心をかけていく。	概ね維持管理業務・運営業務に関して満足を得られているので、今後においても利用者のサービス向上のために努力をすること。
運営目標の達成状況	個別支援計画の見直しが実施出来ていなかったが、利用者ニーズを把握しサービスの向上に努力したため、良質なサービスの提供はなされた。	
施設所管課による総合的な評価及び指導事項	①施設の老朽化に伴う維持管理についてはその都度改善しており、施設管理・運営業務等について、条例、協定等に基づき概ね適正に履行した。 ②経費削減に努めている。 ③利用者ニーズの把握に努め、利用者サービスの向上に努力した。 ④平成22年度は、一層の利用者サービス向上に取り組むこと。また、個別支援計画の評価及び計画の見直しについて早急に改善を行うこと。	
施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況	①施設の老朽化に伴い修繕箇所が増えているが、早期に対応し生活に支障が起きないように努力していく。 ②今後も経費の削減に努力していく。 ③利用者個々のニーズに対応できるよう努力していく。 ④サービス提供における客観的な評価や計画の見直しについて改善を行い順次個別支援計画の見直しを実施しているが、8月末までには全員の計画見直しを行う。	

i 組織図及び職員体制



職名	施設長	福祉指導幹	総務課長	事務員	支援課長	生活支援員	職業指導員	就労指導員	保健師	栄養士	調理員	嘱託医	計	生活支援センター
男	1	1		1	2	5	1	1				(1)	12 (1)	1
女			1			7	1		1	1	4		15	⑦
計	1	1	1	1	2	12	2	1	1	1	4	(1)	27 (1)	1⑦

( ) 非常勤      ○ 兼務